

INFORMATION

No.2025.13
2025年7月

検査新規受託開始および受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、新たな検査項目の受託開始について、下記のとおりご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■受託開始日 2025年8月29日（金）ご依頼分より

■新規実施項目

項目コード	検 査 項 目 JLAC10	備 考
4889	組織因子経路インヒビター2 (TFPI2) 5D115-0000-023-052	検査要項詳細は裏面をご参照ください。

■受託中止項目

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

検査項目一覧 掲載頁	項目コード	検 査 項 目	最終受託可能日
未掲載	3278	組織因子経路インヒビター2 (TFPI2)	2025年8月28日（木）ご依頼分まで



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

●組織因子経路インヒビター2（TFPI2）

卵巣腫瘍の良性/悪性の診断補助および卵巣明細胞癌の推定に有用な新規腫瘍マーカーです。

組織因子経路インヒビター2（Tissue Factor Pathway Inhibitor 2：TFPI2）は、周産期の胎盤から強く分泌されるセリンプロテアーゼインヒビターで、胎盤タンパク質5（Placental Protein 5：PP5）として知られています。健常人や子宮内膜症を含む良性腫瘍ではほとんど上昇せず、CA125との相関が見受けられないことから、両マーカーは補完関係にあり、組み合わせによる測定で卵巣悪性腫瘍をよりの確に検出できることが報告されています。

また、卵巣腫瘍の中でも他の組織型と比較して予後不良とされる卵巣明細胞癌において有意に高値を示すことから、明細胞癌の推定に有用とされます。

既存の卵巣腫瘍マーカーとの組み合わせ測定により卵巣腫瘍の良性/悪性の診断補助や卵巣明細胞癌の推定にご活用ください。

▼検査要項

	新規項目（新法）	中止項目（現法）
検査項目	組織因子経路インヒビター2（TFPI2）	同左
項目コード	4889	3278
報告書名称	TFPI2	同左
検体量	速やかに凍心 0.3mL	同左
容器	① 真空採血管（分離剤入り）	同左
保存（安定性）	凍結（21日）	凍結（14日）
所要日数	3～9日	6～8日
検査方法	CLEIA	FEIA
基準値（単位）	191未満（pg/mL）	同左
報告範囲	10未満、10～5000、5010以上	10未満、10～999000、1000000以上
報告桁数	有効3桁、整数4桁、小数0桁	有効3桁、整数7桁、小数0桁
検査実施料	190点 ①（「D009」腫瘍マーカー「27」）	同左
判断料	144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料）	同左
備 考	採血後、2時間以内に血清分離してください。 凝固促進剤を含まない採血管は使用しないでください。凝固反応が充分でない場合、高値を示すことがあります。 卵巣明細胞癌の判別カットオフ値は270pg/mL未満です。 妊婦では高値となるため、妊婦検体の測定には適しません。	卵巣明細胞癌の判別カットオフ値は270pg/mL未満です。 妊婦では、TFPI2が高値となることが確認されているため、妊婦検体の測定には適しません。採血管内での凝固反応が十分でない場合、TFPI2が高値を示すことがあります。
ご依頼方法	総合検査依頼書Ⅰまたは総合検査依頼書Ⅱの追加項目欄にてご依頼ください。	同左
参考文献	明庭 昇平, 他：東ソー研究・技術報告 65：89～93, 2021.	大竹 則久, 他：東ソー研究・技術報告 62：23～28, 2018.

① 「組織因子経路インヒビター2（TFPI2）」は、FEIA法により測定した場合に算定できる。

② ▼相関図

組織因子経路インヒビター2（TFPI2）

